



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 鈴与シンワート株式会社 上場取引所 東
コード番号 9360 URL <http://www.shinwart.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 徳田康行
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 足洗俊之 (TEL) 03-5440-2800
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,741	6.9	26	—	38	—	22	—
2023年3月期第1四半期	3,499	4.1	△87	—	△83	—	△61	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 32百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △62百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	7.81	—
2023年3月期第1四半期	△20.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,057	3,001	29.8
2023年3月期	10,178	3,086	30.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,001百万円 2023年3月期 3,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	6.4	660	29.3	700	26.5	460	20.5	156.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	3,000,000株	2023年3月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	58,078株	2023年3月期	58,078株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	2,941,922株	2023年3月期1Q	2,941,948株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください文字を入力してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍終息に向けた動きが加速し、社会経済活動の制約は解消されつつあり、緩やかに持ち直しの動きがみられました。しかし、ウクライナ情勢の長期化や欧米をはじめとした海外景気減速への懸念に加え、資源高や賃上げを背景とした人件費アップなどのコスト増加要因による企業の業績下押しリスク等、先行きの不透明な状況が依然として続いています。

一方、当社グループの主力である情報サービス事業では、これまでの新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化とDXに対する意欲の高まりが国内企業のIT投資を後押しし、ITサービスに対する需要は引き続き堅調に推移していくことが見込まれ、2025中期経営計画の中間期にあたる2024年3月期は、同計画で掲げた経営ビジョン「徹底した現場力の向上による収益構造の改革」を具現化すべく、「1.受注・売上拡大」「2.収益性の改善」「3.「人財力」の強化」のための施策に継続して取り組んでおります。

また、物流事業においては、基本である「安全・品質」を具体的に実現・継続させることに集中するとともに、業務のデジタル化に引き続き取り組み、収益力の確保と向上を図っております。さらに、社員の働きやすさを追求し、人財の確保・育成のための施策にも注力しております。

当社グループとしましては、以上のような取り組みを通して、目標としている社会貢献できる企業グループであり続けるため、企業価値の向上に努めるとともに、持続可能な社会の実現に向け努力してまいります。

このような状況のもと、当社グループの売上高は37億41百万円（前年同四半期比6.9%増）、売上総利益は収益性の改善と売上高の伸びにより7億62百万円（前年同四半期比33.2%増）となり、第1四半期連結累計期間としては過去最高となりました。営業利益は26百万円（前年同四半期は87百万円の損失）、経常利益は38百万円（前年同四半期は83百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円（前年同四半期は61百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①情報サービス事業

売上高は、システム開発が堅調に推移し、人事・給与・就業・会計等の業務を対象としたパッケージソリューションサービスが増収となったことに加え、安全運転支援クラウドサービス「あさレポ」の利用料増加やデータセンターのサービス料金改定により、増収となりました。

以上の結果、売上高は28億85百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

セグメント利益は、システム開発やパッケージソリューションサービスにおいて生産性向上や高付加価値化による収益性改善が継続していること、及びデータセンター等の電気料金値上げのインパクトを価格転嫁で吸収できたことにより、増収効果とあいまって大幅な増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は3億40百万円（前年同四半期比73.5%増）となりました。

②物流事業

売上高は、倉庫事業と港運事業において、取扱量が増加し保管残高が堅調に推移したことに加え、陸運事業の新規貨物の獲得や輸送取扱量が増加したことにより増収となりました。

以上の結果、売上高は8億56百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。

セグメント利益は、各事業において収益性の改善が継続していることに加えて、作業手順の見直し等の業務効率化が寄与し、陸運事業では自社車両の稼働率向上があり増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は1億74百万円（前年同四半期比21.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4億30百万円減少し、37億79百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加1億47百万円と受取手形及び売掛金の減少8億75百万円、仕掛品の増加2億6百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3億9百万円増加し、62億78百万円となりました。これは主として、建物及び構築物の減少35百万円とソフトウェアの減少33百万円、繰延税金資産の増加90百万円によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1億20百万円減少し、100億57百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2億72百万円減少し、33億36百万円となりました。これは主として、短期借入金の減少5億円、1年内返済予定の長期借入金の減少65百万円、賞与引当金の増加2億90百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億37百万円増加し、37億19百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少71百万円、リース債務の増加2億88百万円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて85百万円減少し、30億1百万円となりました。これは主として、利益剰余金の減少94百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。業績予想につきましては、サマリー情報の「3.2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,252	1,400
受取手形及び売掛金	2,656	1,780
仕掛品	101	308
その他	199	290
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,209	3,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	664	629
工具、器具及び備品（純額）	287	309
土地	2,472	2,472
その他（純額）	550	806
有形固定資産合計	3,975	4,218
無形固定資産		
ソフトウェア	296	262
のれん	24	22
その他	73	78
無形固定資産合計	394	364
投資その他の資産		
投資有価証券	518	528
繰延税金資産	828	919
その他	272	268
貸倒引当金	△21	△20
投資その他の資産合計	1,598	1,695
固定資産合計	5,968	6,278
資産合計	10,178	10,057

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	844	717
短期借入金	800	300
1年内返済予定の長期借入金	471	406
リース債務	158	170
未払法人税等	125	122
賞与引当金	545	836
受注損失引当金	3	0
その他	661	784
流動負債合計	3,609	3,336
固定負債		
長期借入金	852	780
リース債務	331	620
再評価に係る繰延税金負債	171	171
役員退職慰労引当金	23	20
退職給付に係る負債	2,001	2,025
その他	101	100
固定負債合計	3,482	3,719
負債合計	7,091	7,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	802	802
資本剰余金	162	162
利益剰余金	1,880	1,785
自己株式	△37	△37
株主資本合計	2,807	2,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	39
土地再評価差額金	248	248
退職給付に係る調整累計額	1	1
その他の包括利益累計額合計	279	289
純資産合計	3,086	3,001
負債純資産合計	10,178	10,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,499	3,741
売上原価	2,926	2,978
売上総利益	572	762
販売費及び一般管理費	660	736
営業利益又は営業損失(△)	△87	26
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	6
経営指導料	4	4
受取賃貸料	4	4
その他	3	3
営業外収益合計	18	19
営業外費用		
支払利息	8	6
その他	6	1
営業外費用合計	14	8
経常利益又は経常損失(△)	△83	38
特別利益		
固定資産売却益	-	1
特別利益合計	-	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△83	39
法人税等	△22	16
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61	22
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61	22

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61	22
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	9
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	9
四半期包括利益	△62	32
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月29日 定時株主総会	普通株式	88	30.00	2022年3月31日	2022年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月29日 定時株主総会	普通株式	117	40.00	2023年3月31日	2023年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,695	804	3,499	—	3,499
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,695	804	3,499	—	3,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	1	△1	—
計	2,695	805	3,501	△1	3,499
セグメント利益又は損失(△)	196	143	339	△426	△87

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△426百万円は、セグメント間取引消去5百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△430百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,885	856	3,741	—	3,741
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,885	856	3,741	—	3,741
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	1	△1	—
計	2,885	856	3,742	△1	3,741
セグメント利益	340	174	515	△488	26

(注) 1 セグメント利益の調整額△488百万円は、セグメント間取引消去5百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△492百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。